

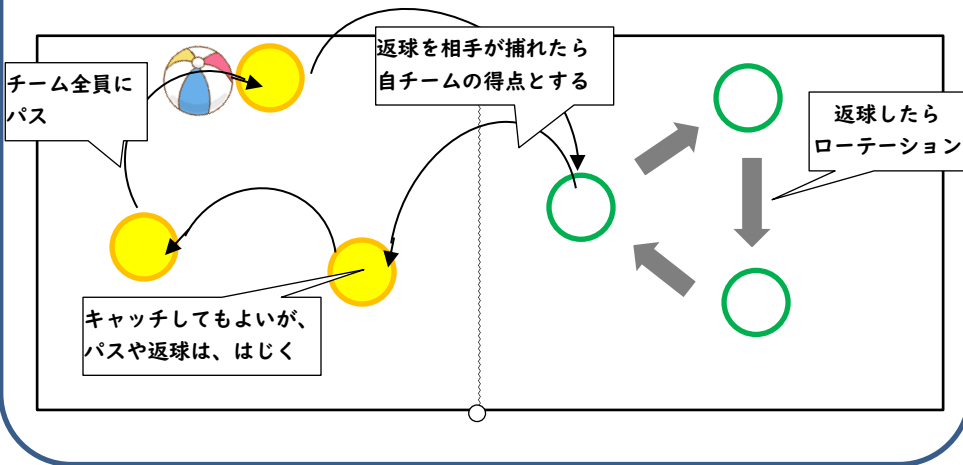


小学校	体育	3年生
-----	----	-----

ボール操作を容易にする滞空時間の長いビーチボールの活用と
誰もが協力してゲームを楽しめるように規則を工夫した
『ラリーラリーボール』

【誰もが協力してゲームを楽しめる規則】

- ・ビーチボールを使用する。
- ・バドミントンコートを使用し、1チーム3名で行う。
- ・サーブは優しくはじいて相手コートに入れる。
- ・ボールは捕ってよいが、パスや返球は片手または両手ではじく。
- ・チームの全員がボール操作をして、相手コートに返球する。
- ・1人が何回ボール操作をしてもよい。
- ・返球を相手チームが捕ることができたら、自チームの得点とする。
- ・返球したらローテーションする。
- ・3分間で、同コートの両チームの合計点を得点とする。



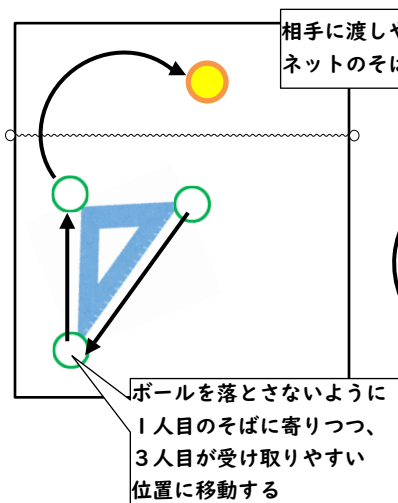
行い方は、誰にでも「分かりやすい」、そして「易しい」ことを大切にして、ボールはキャッチできることとしました。ただし、ネット型ゲームらしくパスや返球のときは、ボールをはじきます。ラリーが続くとコートの点数が増えていくので、ネットを挟んだ2チームでプレイが成功する喜びを共有することができます。

【楽しむ作戦を考えよう】

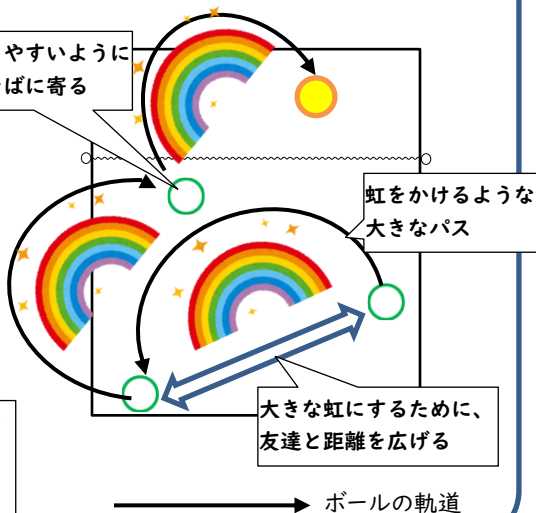
ラリーラリーボールのゲームでは、相手を打ち負かすことはしません。仲間とパスをつなぎ、相手チームともラリーを続けることを目指して行います。そのため、チームの作戦はどのように動いてパスをつなぎ、返球したら楽しいかをテーマに考えます。

〔楽しむ作戦の例〕 ※児童が実際に考案したもの

三角定規返し



トリプルレインボー返し



【ビーチボールの活用】



- 直径40cmのビーチボールを活用する。
- やわらかく当たっても痛くないため、ボールへの恐怖心を取り除くことができる。
- ボール操作が易しく、滞空時間が長くなるため、ボールの軌跡が分かりやすい。

※詳細は、総合教育センターwebサイト、長期研究員 研究報告(R6)をご覧ください。